2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	整形外科学	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	PT・2年
				曜日・時限	月曜・1限
担当教員	水野靖廣、後藤洋平、平澤勉、笠原靖子				
授業概要	整形外科疾患はリハビリテーションの対象となるものが多く、他の疾患の併存症としても認めるものが多々あります。また、国家試験においても必須科目であり、運動器疾患の運動療法の基礎的知識となります。そのためにも基本的な整形外科の疾患の病態、評価、治療を理解しましょう。				
学習目標	・整形外科学を理解することで理学療法評価につながり、問題点を抽出することが出来ます。暗記ではなく理解をしてください ・今までに学習した解剖・運動・生理を復習したうえで講義を受けるようにしてください。学習した内容が結びつく楽しさを一緒に学んでいきましょう。 ・臨床でも腰椎疾患に罹患している患者さんはとても多いです。理解を深めていきましょう。				

回数		担当教員
1回目	総論	後藤　洋平
2回目	RA関連疾患　(関節リウマチなど)	笠原　靖子
3回目	スポーツ外傷・障害①　(スポーツ障害(靭帯損傷など)について)	笠原　靖子
4回目	スポーツ外傷・障害②　(スポーツ障害(靭帯損傷など)について)	笠原　靖子
5回目	変形性関節症①　(変形性股関節症及び変形性膝関節症など)	後藤　洋平
6回目	変形性関節症②　(変形性股関節症及び変形性膝関節症など)	後藤　洋平
7回目	変形性関節症③　(変形性股関節症及び変形性膝関節症など)	後藤　洋平
8回目	小テスト①　まとめ及び共有	笠原 / 後藤
9回目	末梢神経損傷	平澤　勉
10回目	脊椎、脊髄外傷　(脊椎・脊髄損傷など、その評価と治療法について)	平澤　勉
11回目	腰椎(腰椎椎間板版ヘルニア、腰椎分離症、腰部脊柱管狭窄症など)	平澤　勉
12回目	外傷総論　骨折、脱臼とは　外傷による救急処置など	水野 靖廣
13回目	上肢外傷(骨折・脱臼)　(上肢の骨折と脱臼について)	水野 靖廣
14回目	下肢外傷(骨折・脱臼)　(下肢の骨折と脱臼について)、壊死性疾患	水野 靖廣
15回目	小テスト②　まとめ及び共有	水野 / 平澤

教科書及び参考書	標準理学療法学　専門基礎分野　整形外科学
成績評価	期末試験(80%)、小テスト(20%)、出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)、態度について(悪い場合は減点します)

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

整形外科学は、中枢神経系疾患(脳血管障害など)に並び理学療法において「要」であり、実習でも多くの学生が担当することになる学問です。当然、国家試験においても出題率が非常に高い科目です。

また、1年次の解剖学、運動学の基礎を理解出来ていないと本講義が全く理解出来なくなります。解剖学、運動学の復習をしたうえで積極的に取組み1回1回の授業を大切にしてください。

なお、授業内容及び進度は皆さんの理解度や感染症の状況などで随時変更する場合があります。その際は事前に連絡します。

ソーシャルワーク演習Ⅱ(3232)	大兼健寛	併修科目・必修
		PT2年
		月曜2限

授業のねらい	ソーシャルワーク演習Ⅱは「ソーシャルワークの展開過程」という位置づけとなり、ソーシャルワーク演習Ⅰで学習したクライエントシステムに関する理解を踏まえて、ソーシャルワーク・プロセスの展開とプロセスにおいて活用される面接やプログラム分析、アウトリーチやチームアプローチといった技術について学修する。
教科書・資料	都度、プリントテキストを配布する。原則、再配布はしない。

設題			
	レポート 1	ソーシャルワーク実践における展開過程について述べよ。	清書　11月16日(月)授業内
	(ポイント)	ケースワーク、グループワーク、コミュニティワーク、それぞれの展開過程について整理し、求められる技術や知識について整理する。	
	レポート 2		清書
	(ポイント)		
	科目終了試験	学修のポイント・1　人を理解するための総合的な視点(バイオ・サイコ・ソーシャル)について 学修のポイント・3　グループワークの展開過程とソーシャルワーカーの働きについて 学修のポイント・6　ネットワーキングについて	科目終了試験12月 23日(水) 実施予定
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表	

1	オリエンテーション、ケースワークの展開過程
2	グループワークの展開過程
3	コミュニティワークの展開過程
4	展開過程に係る技術・知識
5	各展開過程の共通点と相違点、清書レポート作成①
6	清書レポート作成②
7	学修のポイント・1　人を理解するための総合的な視点(バイオ・サイコ・ソーシャル)について
8	1250字レポート作成＆締切
9	学修のポイント・2　グループワークの展開過程とソーシャルワーカーの働きについて
10	1250字レポート作成＆締切
11	学修のポイント・6　ネットワーキングについて
12	1250字レポート作成＆締切
13	確定的展開と予測的展開
14	科目終了試験対策
15	「ソーシャルワーク演習Ⅲ(3232)」科目終了試験(持ち込み不可)
	期末試験

成績評価		
	出席率	３０点　80%　以上、出席すること。欠席1回は－10点、遅刻1回は－3点
	期末試験	５０点　論述式、持込み:可
	授業内評価	２０点　レポート・1250字レポートの提出状況・内容、授業態度を考慮して評価する。

備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、８０%以上が求められます。８０%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	運動療法総論Ⅲ	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	PT・2年
				曜日・時限	月曜・3限
担当教員	後藤　洋平				
授業概要	骨折や捻挫など運動障害を治療対象とする理学療法士にとって、理論基盤をなす重要な基礎科目です。正常な運動と仕組みの知識を深め障害に対する問題点を理解でき、なぜ運動が必要となるのかがわかるようにしましょう。また、その適切な運動量や方法も患者様によって異なります。1人1人に適切な運動方法が導き出せるようになりましょう。				
学習目標	①痛みの基礎知識を理解し、痛みに対する運動療法を知る ②持久力低下に対する運動療法を知る ③感覚障害に対する運動療法を知る ④バランス障害に対する運動療法を知る ⑤協調性運動の基礎知識を理解し、運動療法を知る ⑥姿勢障害に対する運動療法を知る ⑦歩行障害に対する運動療法を知る				

回数		担当教員
1回目	痛みの基礎知識と痛みに対する運動療法について	後藤　洋平
2回目	持久力低下に対する運動療法について①	後藤　洋平
3回目	持久力低下に対する運動療法について②	後藤　洋平
4回目	感覚障害に対する運動療法について①	後藤　洋平
5回目	感覚障害に対する運動療法について②	後藤　洋平
6回目	小テスト(1～5回目の内容)　振り返り・まとめ	後藤　洋平
7回目	バランス障害に対する運動療法について①	後藤　洋平
8回目	バランス障害に対する運動療法について②	後藤　洋平
9回目	協調性運動障害に対する運動療法について	後藤　洋平
10回目	姿勢障害に対する運動療法について①	後藤　洋平
11回目	姿勢障害に対する運動療法について②	後藤　洋平
12回目	歩行障害に対する運動療法について①	後藤　洋平
13回目	歩行障害に対する運動療法について②	後藤　洋平
14回目	小テスト(7～13回目の内容)　振り返り・まとめ	後藤　洋平
15回目	総まとめ・期末試験対策講義	後藤　洋平

教科書及び参考書	運動法療法学　障害別アプローチの理論と実際　第2版　(文光堂)
成績評価	定期テスト80%、確認テスト20%、出席(欠席1回3点減点、遅刻1回1点減点)

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

運動療法を学ぶ上で大切になるのが、解剖・運動・生理の基礎知識になります。講義前にしっかりと復習をして授業に取り組んでください。
運動療法は理学療法士において要となる範囲です。また、国家試験においても出題率が非常に高い学問です。1回1回の授業を大切にし、実際後期にあります臨床実習(見学実習)で各病院・施設の理学療法士の先生がどのように考え、患者や利用者に運動をしているのか理解できるよう頑張って下さい。
また、授業内容及び進度は必要に応じ変更する場合があります。その際は事前に連絡します。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	地域リハビリテーション学	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	PT・2年
				曜日・時限	月曜・4限
担当教員	後藤　洋平				
授業概要	病院やクリニックなどの医療機関以外のリハビリテーションとはどのようなものかを知る。また医療制度や福祉制度などリハビリテーション技術以外の知識である制度や他の医療、福祉スタッフとの関係性を学ぶと同時に、同じリハビリテーションスタッフの作業療法についても導入的ではあるが学んでいく。その他、今時代的に必要とされている災害地での理学療法士の役割や具体的な仕事を事例を通して勉強していく。				
学習目標	①地域とは、また地域リハビリテーションとは何か理解する。 ②地域で理学療法を行う上での関連制度や他の医療スタッフ、それ以外の職種との連携の方法を知る。 ③在宅において患者をどのように考え理学療法を進めれば良いか知る。 ④行政や災害といった時代的課題と理学療法士の関係についてを知る。				

回数		担当教員
1回目	オリエンテーション、地域の概念、地域リハビリテーションの歴史、地域の区分について	後藤　洋平
2回目	地域理学療法の概念、地域における役割、地域における理学療法士の現状と今後の展望	後藤　洋平
3回目	地域リハビリテーションの関連制度と関連法規	後藤　洋平
4回目	住環境と福祉用具について、ADLへつなげる具体的指標　課題:住環境評価シートの作成	後藤　洋平
5回目	地域におけるリスクマネジメント、医療・環境的リスク	後藤　洋平
6回目	地域リハビリテーションプロセス(理学療法的とシステム的)について	後藤　洋平
7回目	地域理学療法の実際①(訪問・デイケア・デイサービス)	後藤　洋平
8回目	地域理学療法の実際②(施設系、終末期)	後藤　洋平
9回目	予防分野のリハビリテーション①(サルコペニアと介護予防)	後藤　洋平
10回目	予防分野のリハビリテーション②(認知症・転倒予防)	後藤　洋平
11回目	小テスト①:1回～10回の講義内容　まとめと振り返り	後藤　洋平
12回目	行政における療法士の役割	後藤　洋平
13回目	地域の防災と災害支援	後藤　洋平
14回目	地域での起業と社会貢献	後藤　洋平
15回目	期末試験に向け1～14回目の講義の総復習	後藤　洋平

教科書及び参考書	PT・OTビジュアルテキスト地域リハビリテーション学 病気が見えるシリーズ(必要な時随時連絡)
成績評価	定期試験(80%)、課題1回(10%)、小テスト1回(10%)、出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

病院やクリニック以外のリハビリテーション、理学療法とはどのようなものかイメージが付かないと思いますが、この講義を通じて少しでも理解できればと思います。また、実際の理学療法介入も事例を通じて勉強していきますので、他職種の重要性も見えてくると思います。また、この職種の具体的な仕事や関連制度にも触れ、金銭的価値・時代的価値・存在的価値を考え、将来自分がつこうとしている職業について具体的にイメージができればと思います。理学療法を医療的技術だけでなく、社会的・人間的に価値があるものと感じてくれるような授業を目指します。
※地域リハビリテーションのトピックスを知るため積極的に新聞やニュースを見ておいてください。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	運動療法総論Ⅱ	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	PT・2年
				曜日・時限	火曜・1限
担当教員	平澤　勉				
授業概要	骨折や捻挫など運動障害を治療対象とする理学療法士にとって、理論基盤をなす重要な基礎科目です。正常な運動と仕組みの知識を深め障害に対する問題点を理解でき、なぜ運動が必要となるのかがわかるようにしましょう。また、その適切な運動量も方法も患者様によって異なります。1人1人に適切な運動方法が導き出せるようになりましょう。				
学習目標	①関節の構造とそれに伴う関節運動を理解する ②筋収縮の種類とメカニズムを理解する。 ③筋収縮を発生させる原理を理解する。 ④運動療法の基礎を理解し、治療に応用できる ⑤国家試験問題を解けるようにする				

回数		担当教員
1回目	骨の構造と機能(骨の構造、機能、骨折の種類と発生機序、骨折の修復機序など)	平澤　勉
2回目	関節の構造と機能(関節の構造、機能、拘縮の分類、原因など)	平澤　勉
3回目	筋の構造と機能(筋収縮の種類、筋長と張力、関節トルクに影響する要因など)	平澤　勉
4回目	運動と呼吸機能(換気・ガス交換のしくみ、運動強度とガス交換の関係など)	平澤　勉
5回目	運動と循環機能(循環系のしくみ、心機能など)	平澤　勉
6回目	運動と循環機能(循環の調節、運動と循環調節など)	平澤　勉
7回目	運動と代謝機能(運動と代謝機能の関連、基礎代謝、有酸素代謝と無酸素代謝など)	平澤　勉
8回目	運動と代謝機能(筋線維タイプと代謝特性、運動が代謝に与える影響など)	平澤　勉
9回目	確認テスト①　まとめ及び共有	平澤　勉
10回目	関節可動域制限に対する運動療法(関節可動域制限の分類、理論、治療の進め方など)	平澤　勉
11回目	筋力低下に対する運動療法(筋力低下の分類、理論、治療の進め方など)	平澤　勉
12回目	呼吸障害に対する運動療法(呼吸障害の分類、理論、治療の進め方など)	平澤　勉
13回目	循環障害に対する運動療法(循環障害の分類、理論、治療の進め方など)	平澤　勉
14回目	代謝障害に対する運動療法(代謝障害の分類、理論、治療の進め方など)	平澤　勉
15回目	確認テスト②　まとめ及び共有	平澤　勉

教科書及び参考書	運動療法学　障害別アプローチの理論と実際　第二版　市橋則明
成績評価	定期テスト80%、確認テスト20%、出席(欠席1回3点減点、遅刻1回1点減点)

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

基本的知識の整理を行うための座学のみでなく、実技を交え実際の方法を体を使って覚えていただければと考えます。そのため皆さんの協力が必要となります。実技中一人一人が真剣に取り組み積極的に体を動かし学んでいただきたいと思っています。運動学総論は理学療法において要となる範囲です。また、国家試験においても出題率が非常に高い学問です。1回1回の授業を大切にし、実際後期にあります臨床実習(見学実習)で各病院・施設の理学療法士の先生がどのように運動をしているのか理解できるよう頑張って下さい。

また、授業内容及び進度は必要に応じ変更する場合があります。その際は事前に連絡します。

高齢者福祉論(3161)	伊里　みゆき	併修科目・必修
		PT2年
		火曜2限

授業のねらい	日本社会は、少子高齢化に伴う人口減少と福祉・介護人材の確保が課題となっており、少子高齢社会の動向を的確に把握し、問題の枠組みを理解すると共に、ニーズに基づく総合的・計画的な対応を明らかにする。 本授業では、高齢者の定義と特性、少子高齢化、高齢者の生活実態・取り巻く社会環境、介護保険制度、高齢者に対する関連諸制度、高齢者と家族等に対する支援について理解し、より良い高齢社会を展望する。
教科書・資料	大学指定のテキストは毎回持参することとし、他に参考資料も配付する場合がある。

設題			
	レポート　1	介護保険制度の基本的枠組みについて体系的に説明しなさい。	清書　10月13日
	(ポイント)	・介護保険の保険者と被保険者について、第1号被保険者の保険料について ・要介護・要支援認定、要支援1・2、要介護1～5、介護サービス計画(ケアプラン)、介護支援専門員 ・地域包括支援センターの役割(高齢者総合相談、介護予防、認知症ケア)とそのスタッフ	提出期限:10月20日
	科目終了試験	1. 老人福祉法の意義、目的など主要事項について 老人福祉法制定(1963)の意義、目的、並びに老人福祉の原理、老人福祉の「措置」 2. 認知症ケアのすすめ方について 認知症の定義、症状及び要介護の状況、関連するサービスの動向(特別養護老人ホーム、認知症グループホーム) 3. 高齢者虐待をめぐる諸問題と対応について 高齢者虐待防止法の意義、虐待の定義(施設・家族等)及び、虐待防止に向けての取り組み	12月22日受験予定 (後日発表)
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表	

1	オリエンテーション　「高齢者と少子高齢社会」
2	「高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境」について
3	「介護保険制度」 1
4	「介護保険制度」 2
5	「介護保険制度」 3　　時間があればレポート作成
6	レポート作成　提出　(提出期限は、翌週授業前までに10月20日)
7	科目終了試験１の対策
8	科目終了試験１の対策　作成　提出　(提出期限は、翌週授業前までに)
9	科目終了試験２の対策
10	科目終了試験２の対策　作成　提出 (提出期限は、翌週授業前までに)
11	科目終了試験３の対策
12	科目終了試験３の対策　作成　提出 (提出期限は、翌週授業前までに)
13	高齢者と家族等に対する支援の実際 (事例をもとにワーク)
14	まとめ科目終了試験受験対策
15	科目終了試験(持ち込み不可)
	期末試験

成績評価		
	出　席　率	３０点　80%　以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。
	期末試験	４０点　持ち込み:可、　論述式
	授業内評価	３０点　レポート・1200字のまとめの内容、提出状況、授業態度を考慮して加算する。

備　考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、８０%以上が求められます。８０%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	人間関係学	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	PT・2年
				曜日・時限	火曜・3限
担当教員	後藤　洋平、平澤　勉				
授業概要	人間関係は集団の中における人と人とのつながりのことであり、社会人、理学療法士として必須の能力です。まず、はじめは社会人(臨床実習学生)として求められる基本的な能力、ルール、マナーなどを理解します。そして、理学療法は様々な手技がありますが多くの手技において患者様の協力が必要になります。理学療法士(臨床実習学生)として実技を通じ患者様と適切な人間関係を構築する技術を学んでいきます。				
学習目標	①社会人として求められる能力を理解しそれを実施することができる。 ②臨床実習で求められる能力を理解しそれを実施することができる。 ③クラスメイト、臨床実習指導者、患者様と適切な人間関係を構築することができる。 ④患者様とより良い人間関係が構築できる技術を習得する。				

回数		担当教員
1回目	社会で求められている力、社会人としてのマナー(身だしなみ、服装、表情、姿勢、挨拶など)について	後藤 / 平澤
2回目	社会人としての連絡(時間、方法、内容など)、ホウレンソウ「報告」、「連絡」、「相談」について	後藤 / 平澤
3回目	コミュニケーション技法(臨床におけるコミュニケーションの目的、非言語的コミュニケーションの重要性など)	後藤 / 平澤
4回目	バイタルサインを実施するうえでのコミュニケーション(態度、問診、技能)について	後藤 / 平澤
5回目	ホットパック、三角巾、下肢装具の装着補助を実施するうえでのコミュニケーション(態度、問診、技能)について	後藤 / 平澤
6回目	移乗介助を実施するうえでのコミュニケーション(態度、問診、技能)について	後藤 / 平澤
7回目	起き上がり、立ち上がり介助を実施するうえでのコミュニケーション(態度、問診、技能)について	後藤 / 平澤
8回目	4回～7回の振り返りと実技復習	後藤 / 平澤
9回目	形態測定を実施するうえでのコミュニケーション(態度、問診、技能)について	後藤 / 平澤
10回目	感覚試験を実施するうえでのコミュニケーション(態度、問診、技能)について	後藤 / 平澤
11回目	関節可動域検査を実施するうえでのコミュニケーション(態度、問診、技能)について	後藤 / 平澤
12回目	徒手筋力検査を実施するうえでのコミュニケーション(態度、問診、技能)について	後藤 / 平澤
13回目	中枢評価実施するうえでのコミュニケーション(態度、問診、技能)について	後藤 / 平澤
14回目	9～13回の振り返りと実技復習	後藤 / 平澤
15回目	まとめ及びレポート作成	後藤 / 平澤

教科書及び参考書	PT・OTのための臨床技能とOSCE　コミュニケーションと介助・検査測定編
成績評価	レポート100%(内容によって減点あり)　出席(欠席1回3点減点、遅刻1回1点減点)　授業態度点で減点あり

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

人間関係を構築する能力は人として、社会人として理学療法士として非常に重要な能力です。今後の臨床実習を乗り越えるためには基礎知識は当然、人間性も大きく問われます。本講義において臨床実習指導者、患者様と良好な人間関係を構築するための知識、方法を理解しましょう。

なお、本講義は座学のみでなくグループワークや実技を交えて展開していきます。そのため学生の皆さんの積極性、協調性が重要となります。全員で講義を作り上げましょう。

授業内容は、必要に応じ変更する場合があります。その際は事前に連絡します。柔軟に対応してください。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	病理学	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	PT・2年
				曜日・時限	火曜4限・金曜2限
担当教員	戎　弘志/戸苅彰史				
授業概要	【戎】医療の現場で実践的に役立つ広範囲でかつ正しい知識を習得する。個々に異なる患者への適正な対応ができるように学習する。総論として病理学の基本を理解し、各論として臓器別の病理を学ぶ。小テストにより、それまでの理解を確認しながら進めていく。 【戸苅】薬を安全かつ効果的に使用するために必要な知識と考え方を身に付けるため、薬物の作用機序や体内動態を理解し、薬理作用、副作用、相互作用などの基本的な知識を整理し、リハビリを受ける多くの患者が服用している薬物について学ぶ。				
学習目標	【戎】第一は国家試験に合格することを目的として、正しく幅広い知識を持つこと、第二は将来の自分の職業を全うするための基礎知識を積む。具体的には創傷治癒、炎症の原因や仲介物質、感染症をおこす病原体の種類や感染経路や免疫システムとアレルギー、自己免疫疾患などの免疫異常、良性腫瘍と悪性腫瘍の違いや悪性腫瘍のそれぞれの臓器での特徴などの知識を得て、循環器疾患、脳血管疾患を始めとする生活習慣病も考えながら、形態学である病理学全般を説明できるようになる。 【戸苅】薬の副作用(眠気、ふらつき、注意力低下、筋緊張の変化、運動機能への影響など)および高齢者における多剤併用〈ポリファーマシー〉の服用状況を確認し、安全にリハビリを行うために、以下の3点の習得を学習目標とする。①薬の効果を理解してリハビリに活かせる、②副作用を早期に発見して安全にリハビリを行える、③服薬の状況がリハビリの成果に影響する。				

回数		担当教員
1回目	先天異常と遺伝子異常・代謝異常　総論：病気の原因、遺伝性疾患、細胞損傷、代謝異常	戎　弘志
2回目	循環器の構造と機能　総論：循環障害(局所と全身)	戎　弘志
3回目	炎症と免疫及び感染症　総論：炎症、免疫、アレルギー、感染症(病原体)	戎　弘志
4回目	腫瘍の病理、老化　総論：悪性腫瘍の発生と転移　老人性変化	戎　弘志
5回目	小テスト　病理学総論	戎　弘志
6回目	循環器の病態　各論：循環器(先天異常と虚血性心疾患)	戎　弘志
7回目	呼吸器と消化器の病理　各論：気管支、肺の疾患　胃腸・肝・膵の疾患	戎　弘志
8回目	泌尿器、内分泌、神経、運動感覚器の病態　各論：腎・泌尿器・内分泌、神経運動感覚器	戎　弘志
9回目	小テスト　病理学各論	戎　弘志
10回目	医療における薬物（医薬品の名前・種類、薬理作用の基本、薬理作用の発現機構、薬理作用と用量、主作用と副作用）	戸苅　彰史
11回目	薬物の生体内運命（薬物の剤形と適用経路、薬物の吸収、薬物の生体内分布、薬物の代謝、薬物の排泄、薬物動態パラメーター、薬物間相互作用、高齢者での薬物動態と有害作用）	戸苅　彰史
12回目	炎症系・痛覚系に作用する薬物（炎症について、ステロイド薬、NSAIDs、抗ヒスタミン薬・抗アレルギー薬、侵害性疼痛と神経障害性疼痛、オピオイド、神経障害性疼痛の治療薬、神経ブロック）	戸苅　彰史
13回目	運動系・代謝系に作用する薬物（パーキンソン病治療薬、中枢性筋弛緩薬、末梢性筋弛緩薬、ボツリヌス毒素、重症筋無力症治療薬、糖尿病治療薬、骨粗鬆症治療薬、関節リウマチの治療薬）	戸苅　彰史
14回目	循環器・呼吸器・消化器系に作用する薬物(降圧薬、心不全治療薬、不整脈治療薬、狭心症治療薬、抗血栓症薬、気管支喘息治療薬、消化性潰瘍治療薬)	戸苅　彰史
15回目	中枢神経系に作用する薬物(睡眠薬、抗精神病薬、抗不安薬、抗うつ薬、中枢神経刺激薬、抗てんかん薬、アルツハイマー病治療薬、薬物依存について)	戸苅　彰史

教科書及び参考書	【戎】わかりやすい病理学　：　南江堂 【戸苅】講義テキストを配布
成績評価	【戎】出席(遅刻・欠席減点)5%、小テスト5%、積極的授業参加態度5%、試験85% 【戸苅】定期テスト100%

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

【戎】病理学は解剖生理学、微生物学、腫瘍学、栄養代謝学などの他、多くの専門分野と接点をもつ「医学の雑学」にも相当する古くて、かつ、常に新しい学問である。将来の専門職には必ず役立つ学科である。授業は原則的に「教科書」に基づき進行するが、必要に応じて基礎医学的なreviewをプリントなどで行い、重要事項についての補強対策とする。また講義中に、その時点で関連する設題についての小論文の提出を求めることもある。
【戸苅】本講義では生体と薬物の相互作用を学び、薬物の基本知識を押さえて、リハビリに役立つ重要ポイントを理解しましょう。授業では、みなさんが理解するのに役立つように講義テキストを用意しています。講義に先立ち予め配布しますので、予習・復習を必ず行ってください。聞きなれない専門用語が多く出てきますので、復習が不可欠です。成績は期末テストで判断します。なお、講義テキストの巻末には授業内容に対応した練習問題を載せてありますので、活用してください。授業は、私と皆さんの共同作業です。学生心得に従って、積極的に学んでください。授業中、特別の許可なしに飲食、携帯・スマートホン等の操作は厳禁です。電源を切って授業を受けてください。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	老　年　学	授業形態	(講義) 演習・実習	学科・年次	PT・2年
				曜日・時限	水曜1・2限
担当教員	久保勝俊				
授業概要	老年学とは、老年医学、基礎老年学、老年社会学の3つの分野包括統合する形の領域を示す言葉です。 その範囲は、それぞれ高齢者に関する臨床医学、老化の機序の解明とその制御、高齢者のよりよい介護、福祉の追究であり、高齢社会の様々な問題点を解決するためには臨床医学・看護学、基礎医学・生物学、社会科学の3分野の協力が不可欠となります。この基礎的かつ、多面的な学問を理解し臨床に役立てましょう。				
学習目標	・加齢に伴う生理的機能運動機能の変化と日常生活への影響を理解することができる。 ・機能的評価内容を理解し、正しく実施することができる。 ・高齢者に特徴的な病気と日常生活上の問題点を理解することができる。 ・国家試験に合格するための基礎的な内容から現場で役立つ内容まで理解することができる。				

回数		担当教員
1回目	加齢と老化 （老化に伴う変化：生理機能、運動機能等）	久保勝俊
2回目	高齢者へのアプローチ1 （機能評価、栄養評価等）	久保勝俊
3回目	高齢者へのアプローチ2 （機能評価、栄養評価等）	久保勝俊
4回目	高齢者に特徴的な症候と疾患1 （高齢者に多い症候、循環器～運動器等） ⑫⑬⑭	久保勝俊
5回目	高齢者に特徴的な症候と疾患2 （高齢者に多い症候、循環器～運動器等） ⑱⑲㉒	久保勝俊
6回目	高齢者に特徴的な症候と疾患3 （高齢者に多い症候、循環器～運動器等） ⑮⑯⑰	久保勝俊
7回目	高齢者をとりまく種々の環境の変化 （経済学から見た高齢社会等）	久保勝俊
8回目	人生の最終段階における医療 （医療・ケアの考え方等）	久保勝俊

教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　老年学　第6版
成績評価	期末に実施するテスト(100%)で評価する。欠席や遅刻はマイナス点となります。

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

老年学を理解するには、解剖学、生理学、生化学、病理学、薬理学の知識が必要となります。高齢者には複数の病期を抱えるヒトが多く、その治療のために多くの薬物を服用しています。この基礎的で多面的な学問を少しでも理解し、実習時高齢者のリハビリテーションに役立てましょう。

児童・家庭福祉論(3172)	小澤 登生男	併修科目・必修
		2年
		PT水曜3限

授業のねらい	少子高齢化社会の進行、家庭や地域における子育て機能の低下などにより、子育て環境が著しく変化 している。これからの子ども家庭福祉においては、子どもを健やかに生み育てられる環境づくりと家庭に対する支援を一層重視した施策の展開が求められている。このような子ども家庭福祉をめぐる環境の変化を踏まえ、子 どもや家庭 を取り巻く現代社会、次世代育支援と子ども・子育て支援、子ども家庭福祉の理念と子どもの権利擁護、子ども家庭福祉の法体系と実施体制、子ども家庭福祉にかかわる福祉・保健施策とソーシャルアクションなどについて学修する 。
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。

設題				
	レポート 1	少子高齢化社会における 子ども 家庭福祉のあり方について述べよ。	清書	10月28日(水)
	(ポイント)	①わが国の少子化高齢化社会の現状とそれが及ぼす子育ち・子育てへの影響について説明する。 ②子ども家庭福祉の原理・ 理念、 子どもの権利 擁護及び子ども家庭福祉にかかわる法制度と実施体制について説明する。		
	レポート 2		清書	
	(ポイント)			
	科目終了試験	学修のポイント・1 子ども家庭福祉とは何か 学修のポイント・3 子ども家庭福祉に関わる法制度について 学修のポイント・6 子ども家庭福祉におけるソーシャルアクションについて	科目終了試験12月16日(水) 実施予定	
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	学修のポイント・１　子ども家庭福祉とは何か
2	1,200字レポート作成
3	子ども家庭福祉の歴史
4	学修のポイント・３　子ども家庭福祉に関わる法制度について
5	1,200字レポート作成
6	子ども家庭福祉の支援の基盤
7	少子高齢化社会における 子ども 家庭福祉のあり方について
8	清書レポート作成
9	子ども・子育て支援、母子保健、保育について
10	児童虐待にかかわる支援、社会的養護、ひとり親家庭への支援と女性支援について
11	スクールソーシャルワーク(SSW)、少年非行と若者支援、障害のある子どもへの支援について
12	学修のポイント・６　子ども家庭福祉におけるソーシャルアクションについて
13	1,200字レポート作成
14	まとめ、科目終了試験・期末試験対策
15	科目終了試験
	期末テスト

成績評価		
	出席率	３０点　80% 以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となる。
	期末試験	５０点　持ち込み:可、 論述式
	授業内評価	２０点　提出状況、授業態度を考慮して加算する。

備　考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、提出期限を意識して提出をすることを心掛けてください。
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、８０%以上が求められます。８０%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ(3390)	大兼健寛	併修科目・必修 PT2年 水曜4限

授業のねらい

本科目では、個人、家族、集団、また地域社会といったクライエントシステムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。特に、ソーシャルワーク実践に不可欠なソーシャルワークプロセス(相談援助の展開過程)を軸に、「人と環境との交互作用」という視点について理解を深めることを最重要とする。

教科書・資料		大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。		
設題	レポート 1	ソーシャルワークにおける、人と環境との交互作用に関する視点と理論について述べよ。	清書	10月21日(水)授業内
	(ポイント)	ソーシャルワークにおいて、人と環境との交互作用に関する視点がどのように位置づけられているのかを理解し、ソーシャルワーク実践の目的と特徴を説明することが求められる。		
	レポート 2	ソーシャルワークの展開過程と各段階の特徴、ソーシャルワーカーの役割について述べよ。	清書	11月26日(水)授業内
	(ポイント)	ソーシャルワークの展開過程について、一連の流れを把握し、ソーシャルワークの方法・技術を理解することが必要である。そしてソーシャルワークの価値に基づく実践として、ソーシャルワーク専門職の果たすべき役割を考察すること。		
	科目終了試験	学修のポイント・2 ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて、それぞれの考え方と方法、特徴について 学修のポイント・3 ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について 学修のポイント・6 ソーシャルワークにおけるスーパービジョンの意義と目的、課題について	科目終了試験12月 16日(火)実施予定	
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	オリエンテーション、クライエント「システム」という考え方
2	「人と環境との交互作用」の視点について①
3	「人と環境との交互作用」の視点について②
4	清書レポート作成①
5	学修のポイント・2　ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて
6	1250字レポート作成＆提出締切
7	ソーシャルワークの展開過程の復習
8	展開過程各段階の特徴とソーシャルワーカーの役割①
9	展開過程各段階の特徴とソーシャルワーカーの役割②＆清書レポート作成②
10	学修のポイント・3　ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術＆1250字レポート作成＆締切
11	学修のポイント・6　ソーシャルワークにおけるスーパービジョンの意義と目的について＆レポート作成
12	理論としてのソーシャルワーク
13	エコロジカルとエコシステム
14	科目終了試験対策
15	「ソーシャルワークの基盤と専門職(3370)」科目終了試験(持ち込み不可)
	期末試験

成績評価		
	出席率	３０点　80%　以上、出席すること。欠席1回は－10点、遅刻1回は－3点
	期末試験	５０点　論述式、持込み:可
	授業内評価	２０点　レポート・1250字レポートの提出状況・内容、授業態度を考慮して評価する。

備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、８０%以上が求められます。８０%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	情報処理・統計学	授業形態	(講義) 演習・実習	学科・年次	PT・2年
				曜日・時限	木曜・1限
担当教員	平間　亮				
授業概要	医療情報の収集および把握をスムーズにできるよう学習する。 文献に記載のある統計を理解し研究結果の理解ができるよう学習する。 パソコン上で動画や図形を使い、動作をより理解できるようにする。 自分で興味ある文献を調べ、まとめることができる。				
学習目標	統計について理解する。 表計算・統計ソフトの操作方法が可能となる。 文献検索と文献抄読ができ、グループ内で共有できる。 スティックピクチャーを作成し動作観察を行える。 内容を考え発表し、礼節を含めた質疑応答を行える。				

回数		担当教員
1回目	EBMについて （科学的根拠のある医療、理学療法）①	平間亮
2回目	EBMについて （科学的根拠のある医療、理学療法）②	平間亮
3回目	表計算ソフト『Microsoft Excel』演習。表・グラフ作成、関数入力①	平間亮
4回目	表計算ソフト『Microsoft Excel』演習。表・グラフ作成、関数入力②	平間亮
5回目	無料統計ソフト『EZR (Easy R) 』の概要説明	平間亮
6回目	EZR演習。平均値と中央値(変数・連続変数の要約、グラフ作成)	平間亮
7回目	EZR演習。分散・標準偏差(正規分布、平均値と偏差値)	平間亮
8回目	EZR演習。t検定、相関、回帰分析(p値、検定方法の選択のチャート)	平間亮
9回目	スティックピクチャーの作成、動画処理①	平間亮
10回目	スティックピクチャーの作成、動画処理②	平間亮
11回目	文献検索の方法（医療文献を検索ソフトを用い調べる方法を学ぶ）	平間亮
12回目	レポートの記載方法と発表（レジュメ、スライド、プレゼンテーション方法、PREP法）	平間亮
13回目	文献を要約しPREP法で発表①	平間亮
14回目	文献を要約しPREP法で発表②	平間亮
15回目	文献を要約しPREP法で発表③	平間亮

教科書及び参考書	標準理学療法学　理学療法研究法　第3版 配布資料
成績評価	演習課題提出：40%、スティックピクチャーの課題提出：10% 発表：50% 欠席、態度不良、および教科書、配布資料を忘れた場合は大幅な減点の対象とします。 （欠席1回3点減点、遅刻1回1点減点）

学生へのメッセージ（受講上の留意点）

理学療法に関する情報を集め、実習時の評価や治療に活用できるようその方法を学び理解しましょう。また、3年生の動作分析や研究法の授業でも実際に統計や文献検索などを行います。パソコンを使用し、動画の編集、絵（歩行の姿等）の作成、統計処理を行い、少しでもパソコンに慣れ、使いこなせるようしましょう。苦手意識の軽減のためグループで行います。就職後も、多くの職場でパソコンを使用し資料の作成を行います。積極的に日常からパソコンを使い、いろいろなことができるようになっていただければと思います。なお、授業では学校のパソコンを使用しますが、自分のパソコンが使いやすいと思う学生は使用可能とします。無料統計ソフト『EZR (Easy R) 』自治医科大学のホームページより無料でダウンロードが可能です。

障害者福祉論(2023)	吉安功一	併修科目・必修 2年 PT木曜3限

授業のねらい	今日、障害者福祉の考え方は、国連の人権宣言やノーマライゼーションの理念に基づき発展してきている。本科目では、障害者福祉の理念と考え方、歴史的変遷、法体系、障害者運動の展開、障害の種類の多様性とニーズの多様性など、障害者に関する基礎知識を学修する。そのうえで、単に知識として理解するのではなく、自分で考察する力(じぶんの考えをまとめ相手に伝える力)を身に着け、現場で活きる理解を深めていく。

教科書・資料		大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。		
設題	レポート 1	障害者の自立支援の現状と課題について述べよ	清書	
	(ポイント)	日本における障害者の社会参加を支援するための法整備や施策にちて整理し(障害者総合支援法を中心に、就労支援の事例を取り入れてまとめる)、今後の障害者就労支援の課題について、医療専門職を目指すも者としての視点から、自分自身の考えをまとめること。		
	科目終了試験	学修のポイント2　障害者の概念について述べよ 学修のポイント3　ノーマライゼーションの理念について述べよ 学修のポイント6　障害者福祉分野における多職種連携について	科目終了試験 日程調整中	
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	オリエンテーション(シラバス等確認、成績評価について)
2	学修のポイント2　障害者の概念について述べよ①
3	学修のポイント2　障害者の概念について述べよ②
4	レポート対策(障害者総合支援法①)
5	レポート対策(障害者総合支援法②)
6	レポート対策(障害者就労の実態①)
7	レポート対策(障害者就労の実態②、今後の課題や取り組みについて)
8	レポート対策(清書レポート)
9	学修のポイント3　ノーマライゼーションの理念について述べよ①
10	学修のポイント3　ノーマライゼーションの理念について述べよ②
11	学修のポイント6　障害者福祉分野における多職種連携について①
12	学修のポイント6　障害者福祉分野における多職種連携について②
13	障害者権利条約について
14	科目終了及び期末試験対策
15	科目終了試験
	期末試験

成績評価	出席率	３０点	80% 以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。
	期末試験	５０点	持ち込み:可、 論述式
	授業内評価	２０点	提出状況、授業態度を考慮して加算する。

備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、８０%以上が求められます。８０%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	機能解剖学Ⅱ	授業形態	講義 (演習) 実習	学科・年次	PT・2年
				曜日・時限	木曜・4限
担当教員	村田　薫克				
授業概要	・機能解剖学Ⅱでは主として上肢の関節を中心に学んでいきます。前期で学習した機能解剖学Ⅰと同様に、1年生の解剖学や運動学で学んできた骨学や筋学に関する専門用語を使用して各関節で起こる機能について説明できることを学習の最終目標としています。ですので、自分の言葉で説明できるように積極的に発言してください。				
学習目標	1.体幹の構造と機能について理解できる。 2.肩複合体の構造と機能について理解できる。 3.肘と前腕の構造と機能について理解できる。 4.手関節・手の構造と機能について理解できる。				

回数		担当教員
1回目	体幹の機能解剖学①:体幹の骨、筋等の形状、作用と役割り、各種運動について理解する	村田　薫克
2回目	体幹の機能解剖学②:体幹の骨、筋等の形状、作用と役割り、各種運動について理解する	村田　薫克
3回目	体幹の機能解剖学③:体幹の骨、筋等の形状、作用と役割り、各種運動について理解する	村田　薫克
4回目	肩複合体の機能解剖学①:肩複合体の骨、筋等の形状、作用と役割り、各種運動について理解する	村田　薫克
5回目	肩複合体の機能解剖学②:肩複合体の骨、筋等の形状、作用と役割り、各種運動について理解する	村田　薫克
6回目	肩複合体の機能解剖学③:肩複合体の骨、筋等の形状、作用と役割り、各種運動について理解する	村田　薫克
7回目	肩複合体の機能解剖学④:肩複合体の骨、筋等の形状、作用と役割り、各種運動について理解する	村田　薫克
8回目	小テスト①:出題範囲（講義1～7回目の内容）まとめと振り返り	村田　薫克
9回目	肘と前腕の機能解剖学①:肘と前腕の骨、筋等の形状、作用と役割り、各種運動について理解する	村田　薫克
10回目	肘と前腕の機能解剖学②:肘と前腕の骨、筋等の形状、作用と役割り、各種運動について理解する	村田　薫克
11回目	肘と前腕の機能解剖学③:肘と前腕の骨、筋等の形状、作用と役割り、各種運動について理解する	村田　薫克
12回目	手関節・手の機能解剖学①:手関節の骨、筋等の形状、作用と役割り、各種運動について理解する	村田　薫克
13回目	手関節・手の機能解剖学②:手関節の骨、筋等の形状、作用と役割り、各種運動について理解する	村田　薫克
14回目	手関節・手の機能解剖学③:手関節の骨、筋等の形状、作用と役割り、各種運動について理解する	村田　薫克
15回目	小テスト②:出題範囲（講義7～14回目の内容）まとめと振り返り	村田　薫克

教科書及び参考書	教科書:筋骨格系のキネシオロジー第3版 参考書:カパンディ関節生理学　図解 関節・運動器の機能解剖
成績評価	定期試験(70%)小テスト(30%)にて評価する。なお欠席1回(3点)　遅刻1回(1点)減点する(授業態度が悪い場合も減点といたします)。

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

前期の機能解剖学Ⅰは下肢を中心に学習しましたが、後期の機能解剖学Ⅱは上肢が中心となります。1年生で勉強した運動学、解剖学、体表解剖学の知識を活用し、その機能を理解することで臨床に則した知識になるよう学習していきましょう。「なぜ、そのように動くのか？」を解剖学的に理解し、「なぜ、ケガ(障害)が起こるのか？」の根本的な原因から理解できればと思います。この知識が、整形外科疾患や中枢疾患などの痛みや運動障害の原因理解に必要となりますし、理学療法の治療に対する基礎知識として必要不可欠となります。「なぜ、この運動を行うと痛みが消えるのか」など、機能解剖的に理学療法士の治療内容を理解できるよう積極的に参加して下さい。

保健医療(3323)	大兼健寛	併修科目・必修
		PT2年
		金曜1限

授業のねらい	疾病構造の変化や人口の高齢化、医療施設から在宅医療への流れが進んでいる現在、保健医療に係る政策や制度はより現状に即したものに変えていく必要がある。本科目では、医療保険制度の概要と医療制度に関する政策動向、保健医療に係る各専門職の役割や多職種連携についての基本的な理解を深めるとともに、保健医療の課題を持つ人に対する社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解してもらう。
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。

設題			
	レポート 1	保健医療サービスの変化と社会福祉士の役割、医療と介護の連携について述べよ。	清書　11月6日(金)授業内
	(ポイント)	保健医療サービスの変遷を疾病構造の変化、医療法の改正、患者の権利の視点から考察し、保健医療サービスにおける社会福祉士の役割について論じる。また、医療と介護の連携をテキストのみでなく、広く最新の情報から考察すること。	
	レポート 2		清書
	(ポイント)		
	科目終了試験	学修のポイント・1　医療ソーシャルワーカーの業務内容について 学修のポイント・2　患者の権利とインフォームド・コンセントの意義について 学修のポイント・5　医師・保健師・看護師・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカーの役割と連携について	科目終了試験 12月18日(金) 実施予定
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表	

1	オリエンテーション、保健医療分野から見る現在の日本の状況(人口と少子高齢化など)
2	保健医療サービスの変遷①
3	保健医療サービスの変遷②
4	患者の権利とソーシャルワーカーの役割
5	医療と介護の連携について、清書レポート作成①
6	清書レポート作成②
7	学修のポイント・1　医療ソーシャルワーカーの業務内容について
8	1250字レポート作成＆締切
9	学修のポイント・2　患者の権利とインフォームド・コンセントの意義について
10	1250字レポート作成＆締切
11	学修のポイント・5　医師・保健師・看護師・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカーの役割と連携について
12	1250字レポート作成＆締切
13	東洋における「保健医療」概念の源流、東洋医学の基礎講座
14	科目終了試験対策
15	「保健医療(3323)」科目終了試験(持ち込み不可)
	期末試験

成績評価		
	出席率	３０点　80%　以上、出席すること。欠席1回は－10点、遅刻1回は－3点
	期末試験	５０点　論述式、持込み:可
	授業内評価	２０点　レポート・1250字レポートの提出状況・内容、授業態度を考慮して評価する。

備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、８０%以上が求められます。８０%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	医学情報処理学	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	PT・2年
				曜日・時限	火曜4限・金曜2限
担当教員	村田　薫克				
授業概要	理学療法士に必要な情報の中で臨床検査の解釈についてを学んでいく。また、基本的な生理検査やX線・CT・MRI画像の特徴やどの疾患に一番有効な検査かといった疾患に絡めた知識の探究も行っていく。そして、生理的検査、画像の解釈から症状を把握し、リハビリテーションを行っていくにあたって何を予想し、何に気を付けていかなければならないかにまで見識を広げて、来る実習に備えていく。				
学習目標	①臨床現場で必要な検査に関する基礎知識を理解することができる。 ②X線・CT・MRI画像の特徴を理解し、画像と解剖学の知識をリンクすることができる。 ③画像から疾患の予測と、理学療法の評価・治療に結び付け考えることができる。				

回数		担当教員
1回目	臨床現場で必要な検査に関する基礎知識(注意点、進め方等)	村田　薫克
2回目	臨床現場で活用する検査の意味とデータの読み方(検査項目の全体像等)	村田　薫克
3回目	臨床現場で活用する検査の意味とデータの読み方(X線・CT・MRI等)①	村田　薫克
4回目	臨床現場で活用する検査の意味とデータの読み方(X線・CT・MRI等)②	村田　薫克
5回目	臨床現場で活用する検査の意味とデータの読み方(X線・CT・MRI等)③	村田　薫克
6回目	臨床現場で活用する検査の意味とデータの読み方(X線・CT・MRI等)④	村田　薫克
7回目	臨床現場で活用する検査の意味とデータの読み方(超音波・心電図等)①	村田　薫克
8回目	臨床現場で活用する検査の意味とデータの読み方(超音波・心電図等)②	村田　薫克
9回目	臨床現場で活用する検査の意味とデータの読み方(超音波・心電図等)③	村田　薫克
10回目	臨床現場で活用する検査の意味とデータの読み方(超音波・心電図等)④	村田　薫克
11回目	まとめ(小テスト)	村田　薫克
12回目	臨床現場で活用する検査の意味とデータの読み方(免疫血清学検査、内分泌検査、腫瘍マーカー等)①	村田　薫克
13回目	臨床現場で活用する検査の意味とデータの読み方(免疫血清学検査、内分泌検査、腫瘍マーカー等)①	村田　薫克
14回目	臨床現場で活用する検査の意味とデータの読み方(免疫血清学検査、内分泌検査、腫瘍マーカー等)①	村田　薫克
15回目	総まとめ	村田　薫克

教科書及び参考書	画像評価、配布資料
成績評価	定期試験(80%)、小テスト(20%)、出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)、 授業態度、課題提出が悪い場合や靖れものに関しては減点いたします。

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

リハビリテーション計画において、生じている疾患や外傷の診断を確認し、そこから障害を評価して予後予測することが必要になります。そのためには画像評価が必要となり、同時に医師や看護師など、他の医療スタッフの情報も理解しなければなりません。まずは多くの検査の基礎的な学習を行い、理解度をみながら検査・データ、治療法、薬剤等も学んでいこうと思います。リハビリテーションだけでなく医学全般に興味をもって取り組んでください。また、画像や検査データの理解をするためには解剖学と生理学の知識は不可欠なので随時復習していきます。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	医学英語	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	PT・1年
				曜日・時限	金曜・3限
担当教員	笠原　靖子				
授業概要	・本授業では、理学療法士として臨床現場で必要となる基礎的な医療英語を学ぶ。授業では、身体部位、筋肉・骨・関節、症状、評価、治療、日常生活動作(ADL)など、理学療法で頻繁に使用する医療英語を習得する。また、問診、関節可動域測定(ROM)、徒手筋力検査(MMT)、歩行練習、などの場面で声掛けできるよう、実際に使える単語を身に付ける。				
学習目標	1.身体部位・筋肉・関節を英語で表現できる。 2.基本的な自己紹介・問診を英語で伝えられる。 3.ROM・MMT・歩行練習などの英語指示ができる。 4.臨床現場で使われる略語が理解できる。				

回数		担当教員
1回目	医療英語①　・医学英語の歴史	笠原　靖子
2回目	医療英語②　・医学英語の構成①	笠原　靖子
3回目	医療英語③　・医学英語の構成②	笠原　靖子
4回目	問診①　・自己紹介と問診①	笠原　靖子
5回目	問診②　・問診②	笠原　靖子
6回目	身体部位①　・身体の部位系	笠原　靖子
7回目	身体部位②　・循環器系	笠原　靖子
8回目	身体部位③　・骨格筋系	笠原　靖子
9回目	筋肉・骨・関節①　・よく使う筋肉・骨・関節を英語で表現する①	笠原　靖子
10回目	筋肉・骨・関節②　・よく使う筋肉・骨・関節を英語で表現する②	笠原　靖子
11回目	筋肉・骨・関節③　・よく使う筋肉・骨・関節を英語で表現する③	笠原　靖子
12回目	筋肉・骨・関節④　・よく使う筋肉・骨・関節を英語で表現する④	笠原　靖子
13回目	筋肉・骨・関節⑤　・よく使う筋肉・骨・関節を英語で表現する⑤	笠原　靖子
14回目	筋肉・骨・関節⑥　・よく使う筋肉・骨・関節を英語で表現する⑥	笠原　靖子
15回目	筋肉・骨・関節⑦　・よく使う筋肉・骨・関節を英語で表現する⑦	笠原　靖子

教科書及び参考書	配布プリント
成績評価	確認テスト(100%)　※欠席席1回:3点　遅刻1回1点減点とする。

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

医療現場で必須となる医学英語の基礎を学びます。最初は難しく感じるかもしれませんが、将来の患者様や医療スタッフとの円滑なコミュニケーションを支える大切な力になります。楽しく着実に身に付けていきましょう。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	小児科学	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	PT・2年
				曜日・時限	金曜・4限
担当教員	磯村　毅				
授業概要	理学療法士・作業療法士としてチーム医療を担う基礎となる小児科学について学ぶ。 小児の発達から主要臓器および分野を網羅的に学ぶ。 小児期は人間の土台を形成する時期であり、その後の人生を文字通り左右する大切な期間であり深く正確な理解が大切である。				
学習目標	チーム医療の一員として役割を担える基礎学力の獲得 医療機関では多職種が情報交換しながら仕事をすすめるが、その共通言語として、病名をはじめとする多数の専門用語が用いられる。こうした基礎知識なしにはチームの一員として適切に機能することは困難であるばかりか、様々な行き違いが起こり医療事故にもつながりかねない。 しかし、子どもを対象とする場合に、小児科で扱う基本的な事項を身につければ、それだけでもチームから信頼されるきっかけとなろう。				
回数					担当教員
1回目	小児科総論　(p1-99)				磯村　毅
2回目	新生児・先天異常・消化器疾患　(p102-215)				磯村　毅
3回目	腫瘍・循環器・代謝・内分泌疾患　(p216-355)				磯村　毅
4回目	腎・泌尿器・生殖器・免疫・アレルギー・膠原病　(p356-453)				磯村　毅
5回目	血液・造血器・感染症　(p454-554)				磯村　毅
6回目	呼吸器・神経・精神・骨・関節疾患　(p555-681)				磯村　毅
7回目	まとめ				磯村　毅
教科書及び参考書	「病気が見える vol15　小児科」/MEDIC MEDIA				
成績評価	テスト60%、レポート40%				

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

予習復習をしっかりすること。いろんなことに興味を持ち、積極的に学ぶこと。
私個人を振返っても、若い時代の1日1日は、本当に貴重であった。良い意味でも悪い意味でも、本当にそうである。
諸君は、幸い、目指す目標が明確で社会貢献の方法も分かり易い分野を学ぶ学生である。
脳は25歳まで、成長を続けるという。諸君らはもはや一人前、これ以上成長の余地は乏しいと感じているかもしれないが(私もそうであった)、今から思うと、その後の伸びしろはまだまだ大きなものがあった。特に、コミュニケーション能力や、人格的な部分はこれからである。そう考えて、課題図書なども選んでみた。
大いに、泣いて笑って、青春を謳歌していただきたい。それらすべてが、職業人としての諸君らの血となり肉となるであろうから。応援している。